

# 縁(ゆかり)通信

(女性とシニアに役立つ情報をお伝えします)

8月「葉月」コロナが5類になり、故郷への帰省や旅行へ出かけた方も多かったのではないのでしょうか？残念なことに、台風が何度も来てキャンセルした方も多いようです。この暑い中、停電などで大変な思いをされた方も多かもしれません、お見舞い申し上げます。

キーワード『あとのことまで、よく考えて！』

## 勝手に決めないで～

(前回までのあらすじ)秋子は友人の智子から、亡くなったご主人の親族の事で相談を受け「死後離婚」という方法があるのを知り、ほっと安心したのだった。

ピンポーン……花屋です

秋子「はい、あら親戚の叔母さんからお花だわ。」

父 春男「おや、また花を送ってくれたのかい？」

秋子「四十九日に供えて下さいって…葬儀も身内でやったから、気を使って送ってくれたのね。うちは無宗教だから、特に四十九日ってないけど、もうそんなに経つんだね早いな。

そういえば父さん、お母さんの遺骨どうするつもり？お墓とか考えてるの？

あ～～～結局、預金も手続きしないでそのままだよ…」

春男「母さんの遺骨は、四季家の墓に埋葬するに決まってるじゃないか。

お前たちも墓参りに行ってるだろう？変な事聞くなあ…ハハハ 預金は任せたぞ！」

秋子「え～あの墓？子供のころは連れられて行ったけど、今は遠くて～悪いけど全然お参りしてないよ。父さんだって行ってないじゃない！」

春男「いや…その…そんなことはないぞ、家でちゃんと参っている。」

秋子「ほら！お墓には行ってないでしょ？きっと兄や妹も行ってないと思うし、お母さんの遺骨をあの墓に納骨するのは反対じゃないかな…この先、お墓を守っていくのは私達なんだし。」 とうとう秋子は、すぐに兄(夏男)と妹(冬子)にLINEした。

『ちょっと～父さんたら、お母さんをあの四季家の墓に入れるって言ってるのよ！』

おっと、これはまた揉めそうな気配、春男さんピンチです💧

亡くなった後の相続手続きの中で、絶対に避けて通れないのが『遺骨』の問題です。

お墓は必ず必要なのでしょうか？

遺骨は自宅で保管していても良いのでしょうか？

跡継ぎがない、お墓を建てるお金も…そんなときどうしたらよいのでしょうか？

## ①お墓は必要なの？

日本の法律(墓地埋葬法)では、**遺骨を埋葬できるのは、法律で許可された場所『墓地』に限る**と定められています…が



**火葬までをすませれば**、必ずお墓を建てることを義務付けているわけではありませんし  
**遺骨を自宅で保管しても問題ありません。**

## ②跡継ぎもないし…そんな時は？

最近では、お墓にもさまざまな種類があります。お墓参りはしたいけれど…という場合は

『**永代供養墓**や**納骨堂**』⇒寺院や霊園に遺骨を預けて供養してもらいます

『**合葬墓**』⇒ほかの遺骨とともに霊園などに埋葬します

『**樹木葬**』⇒最近人気ですね、墓地の樹木の根元に遺骨を埋めます

『**手元供養**』⇒お墓を建てずに自宅で保管する方法ですが、最終的には誰かが遺骨を埋葬しなければなりません

「生前にお墓を購入しています」という方がいます。

そのお墓のことを知っている人はいますか？

そのお墓は、誰かが管理してくれるお墓でしょうか？

お墓を**建てるか建てないか**、建てる場合には**どんなお墓にするか**、よく考えて！



次回は、お墓の費用や種類について、もう少し詳しくお伝えしていきます。

春男さん、子供達から攻められるのか…💧 次回もお楽しみに♪

### 【編集後記】

暑いですが、北海道と聞いて「涼しいでしょう～」と思っている方も多いと思いますが  
多分、ここはもう北海道ではありません(笑)私の子どものころ(何十年前だ！🌀)は真夏でも  
25℃と聞くと「死にそう～～」に暑いと思ったのですが、今では連日 30℃を超えています。  
涼しくなって欲しい、でも寒いのも嫌なんだよねえ～😓ワガママ

発行 行政書士 塩崎由花里事務所

所在地 〒003-0029 北海道札幌市白石区平和通2丁目北1番9号

電話番号 090-8279-6075 011-595-8178 FAX 番号 011-595-8179

お問合せメールアドレス [info@shiozakiyuari.com](mailto:info@shiozakiyuari.com) HP <https://shiozakiyuari.com/>

遺言書の書き方が知りたい・相続の手続きは誰に頼めば良いのか分からない

忙しくて時間がない！ そんな女性とシニアの悩みを解決します！